



令和5年8月29日

報道機関 各位

熊本大学熊本創生推進機構
山 鹿 市

熊本大学熊本創生推進機構 ・ 山鹿市 包括的連携協定調印式の開催について

この度、熊本大学熊本創生推進機構と山鹿市は包括的な連携及び協力関係のもと、相互の人的・知的資源を活用することにより、人材育成、地域連携等、双方及び地域社会の発展に寄与することを目的として、包括的連携協定を締結することとなりました。

つきましては、下記のとおり調印式及び記者会見を開催しますので、当日の取材、報道方よろしくお願いいたします。

記

1 調印式

日 時：令和5年9月1日（金）午前11時30分から

会 場：山鹿市役所 市役所5階501会議室（山鹿市山鹿987番地3）

出席者：

山鹿市長

早田 順一

熊本大学理事・熊本創生推進機構長 大谷 順

2 記者会見 調印式に引き続き、同じ会場で行います。

3 連携事項

- (1) 地域課題の解決のための人的・知的資源の活用に関すること。
- (2) 歴史・景観の活用、新産業創出等による地域振興及びまちづくりに関すること。
- (3) ICTの利活用による地域の活性化及び人材の育成に関すること。
- (4) 研究開発及び研究教育活動に関すること。
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事項

4 協定の概要

熊本創生推進機構は、これまで熊本県下の八代市、天草市、玉名市、阿蘇地域、菊池市において、地場企業の若手経営者や後継者らを対象に、ビジネスを通じた地域課題の解決方法を学ぶ「未来創造塾」の運営に深く携わり、地方発の人材育成に貢献してきました。

上記の地方自治体では、地域共創の高まりと呼応して「未来創造塾」を通じた地域再生・人材育成への反響も大きく、今回山鹿市において「やまが未来創造塾」をスタートする運びとなりました。

山鹿市の地方創生を推進するには、豊かな自然・資源を活かし、農業を含めた産業復興、関係人口の増加、ICT・IoTの活用による生活環境の改善、伝統文化財の保護・活用、観光、学校教育など、多様化・より深化するテーマへの対応が求められています。

これらの課題解決のため、地元の総合大学である熊本大学の「知」の活用と、山鹿市による地域住民等のステークホルダーとの調整や市有財産の利用等、協働関係が、最も重要となります。

これから、熊本大学熊本創生推進機構と山鹿市は、緊密に連携・協力しながら、山鹿市の課題解決及び地方創生を効率的・効果的に推し進めるため、包括的連携協定の締結を通じて、これらの活動を組織間の連携関係として制度化し、さらなる推進の円滑化を図っていきたいと考えています。

<お問い合わせ先>

○熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課	中村	TEL：096-342-3168
○山鹿市役所 総務部 総合戦略課	高野	TEL：0968-43-1112